

**\* ジフテリア破傷風（2期）予防接種を受けるまえに \***

接種年齢 : 11歳から13歳未満  
接種回数 : 1回 \*これまでのDPTの接種回数をご確認ください。(下記参照)  
接種期間 : 13歳未満(13歳のお誕生日の前日まで)受けられますがなるべく早めにお受けになるようお勧めします  
接種場所 : 市内指定医療機関  
持ち物 : 母子健康手帳・予診票・体温計・筆記用具  
\* 母子健康手帳を忘れた場合は接種できませんので必ずご持参ください。  
費用 : 無料

**注意！ 野田市外に住民票をうつした場合、野田市の予診票を使って接種することはできません。必ず転出先の市区町村でご確認ください**

接種の前に、この説明書をよくお読みになってからお出かけください。  
予防接種は体調のよいときにお受けください。  
予診票に記入もれがあると接種できない場合があります。責任をもって記入してください。ボールペン等消えない筆記用具で記入してください。  
病気で治療中の場合や何らかの薬を飲んでいる場合は主治医に相談してから受けるようにしましょう。

乳幼児期に接種したジフテリア百日せき破傷風(DPT)(1期)で得られた免疫が低下するため、追加接種を行い免疫を高めることを目的とします。

**【ジフテリアとは】**

ジフテリア菌による細菌性呼吸器感染症です。

発熱・咽頭痛・頭痛・倦怠感・えん下痛などではじまり、鼻づまり・鼻血・かすれ声・呼吸困難・呼吸筋の麻痺などが続きます。適切な治療や予防接種によって重症になることはまれとなりましたが、死に至ることもある疾患として注意が必要です。

**【破傷風とは】**

けがをしたときに土の中にいる破傷風菌が傷口に入っておこります。必ずしも大きな傷の場合だけではなく、小さな傷からも感染することがあります。菌の毒素により、神経の麻痺や筋肉のけいれんを起こし、死亡する確率の高い危険な病気です。

自然感染による免疫は期待できない為、ジフテリアと一緒に免疫をつけておくことが大切です。

**対象者及び接種方法**

11歳から13歳未満で1回皮下接種

\* ただし、基礎免疫が不十分な方(ジフテリア百日せき破傷風(DPT)を0回または1回接種の方)は、有料にて数回任意接種が必要となります。

(医療機関にご相談ください)

## 予防接種による副反応

接種部位の発赤・腫れ・痛み、時に発熱・頭痛等がありますが、通常 3～4 日で消失します。なお、極めてまれに重大な副反応としてショック・アナフィラキシー様症状があります。

### こんなときは受けられません

発熱しているとき。(接種会場で体温が 37.5 以上ある場合)

平熱の高い人は主治医に相談してください。

重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合。

このワクチンの成分により、アレルギーを呈する恐れが明らかな場合。

麻しん・風しん・水痘・おたふくかぜ・結核 (BCG) など生ワクチンの予防接種をして、27 日以上経過していない場合。日本脳炎・不活化ポリオ・インフルエンザなどの予防接種をしてから 6 日以上経過していない場合。

令和 2 年 10 月 1 日より、他の予防接種との接種間隔について変更の予定です。詳細は、保健センターにお問い合わせください。

麻しんにかかり、治ってから 4 週間程度経過していない場合。風しん・水痘・おたふくかぜなどの病気にかかり、治ってから 2～4 週間程度経過していない場合。突発性発疹・手足口病・溶連菌感染症・伝染性紅斑 (りんご病) などの病気にかかり、治ってから 1～2 週間程度を経過していない場合。

(いずれの場合も医師の診察で予防接種の適否が判断されます。)

その他、医師が予防接種を受けることが不相当と認めた場合。

### こんなときは受ける際に注意が必要です

心臓病・腎臓病・肝臓病、血液の病気や発育障がいなどで治療を受けている場合。

これまで予防接種で、接種後 2 日以内に発熱及び発疹、じんましんなどのアレルギーと思われる異常がみられた場合。

過去にけいれんを起こしたことがある場合。

必ず、事前に主治医に相談してから受けるようにしましょう。

過去に免疫不全の診断がなされている場合及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる場合。

### 予防接種による健康被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障がいを残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

< 問合せ先 >

保健センター ☎ 04 - 7125 - 1188

関宿保健センター ☎ 04 - 7198 - 5011

